

【位置図】



【現状と課題】

- ・ 歩行者が快適に滞在できる空間が不足
- ・ 長時間の路上駐車により、道路交通機能が低下
- ・ 自転車の歩道走行が常態化し、歩行者の安全性が低下



歩行者滞在空間の不足



歩道側の車線は様々な停車車両で埋められる



横断歩道付近まで車列が形成



自転車の歩道走行が常態化

【対策イメージ】

- ・ 片側 2 車線を 1 車線に規制
- ・ 空間のタイムシェア
- ・ 自転車走行環境整備



- ・ 道路空間の有効活用や自転車の車道走行を促すことで、安全・安心な歩行空間を創出
- ・ まち歩きを楽しみ、快適に滞在できる空間を創出



居心地がよく
歩いて楽しいまちの
実現

【実証実験のイメージ】

片側 2 車線を 1 車線に規制して、賑わいの創出と歩行者の安全性の向上を図る

片側 2 車線を 1 車線に規制

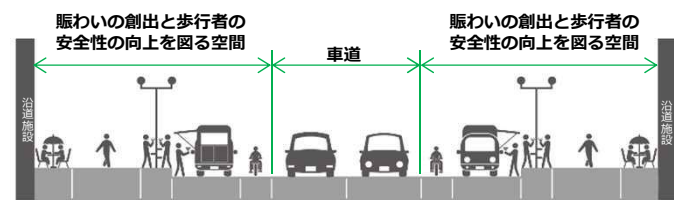
- ・まち歩きを楽しみ、快適に滞在できる空間を創出 (沿道店舗等による物販、キッチンカーの出店テーブルや椅子、芝生等の設置等)



現況横断面



実験中横断面




空間のタイムシェア

- ・沿道店舗の営業時間内は、賑わい空間として活用
- ・沿道店舗の営業時間外は、荷物の荷さばき空間として活用



自転車走行環境を整備

- ・車道部に矢羽根型路面標示 () を設置し自転車走行箇所を明示、車道走行を促進
- ・シェアサイクルポートの拡充や車道から直接出し入れできるように配置



沿道店舗の営業時間内

自転車走行環境を整備



片側 2 車線を 1 車線に規制

空間のタイムシェア

沿道店舗の営業時間外



片側 2 車線を 1 車線に規制

空間のタイムシェア